



花／綴化サボテン‘仙人閣’ 枯れひまわり カリステモン・ドーソンリバー シーグレープ クレマチス‘ビエネット’  
コルマナラ‘ボブキャット’ ブーゲンビリア 器／西中千人作ガラス花瓶《日出づる》

いどむ  
*Ohara  
Hiroki*

背の高さの異なる扉が並んだ不思議な洋間に、ガラス作家・西中千人の器を合わせました。西中さんには、本誌の対談や、先日の個展のトークライブに登場いたくだなど、度々お世話になりましたが、この内部から流れ出るようなオレンジ色の造形には、いい知れぬ生命力を感じ、「躍動する花」をひけてみたいと思つたのです。骨格はサボテンと枯れひまわりで構成しています。あとから写真で見てみると、サボテンがひまわりの命を一瞬で吸い取つてしまつたように見えます。

我ながら取合せの数が多くなつたな、と思いましたが、これぐらいいパワーを持たせるにはちょうど良かったかもしれません。